



一般社団法人名古屋工業会会誌

ごきそ

2023 1-2 月号

【新年挨拶】

加川純一理事長のあいさつ

木下隆利学長のあいさつ

【ホットライン】

「名工大歴史館」約200人が来館

支部長会議を開催

第60回工大祭への協賛

大学の防災訓練に参加

【新聞記事コーナー】

中日新聞

【情報ネットワーク】

支部報告・会員ニュース

No.511

発行 一般社団法人名古屋工業会
(名古屋工業大学全学同窓会)

〒466-0061 名古屋市昭和区御器所町字木市29番
国立大学法人名古屋工業大学 校友会館内

TEL・052-731-0780

FAX・052-732-5298

E-MAIL・gokiso@lime.ocn.ne.jp

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>





新年のご挨拶

理事長 加川 純一 (K49)



新年明けましておめでとうございます。皆様
そして御家族の皆様お変わりありませんか。

まだまだコロナウイルス感染は終息を見せず
変異を続け重症化リスクは少し弱くなったもの
の、感染力は増大し波を打って襲ってきます。
また、この一年いろいろな出来事がありました。
2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻
はまだ続いていますし、世界経済はインフレが
進んでおり、その結果日本にとって極端な円安
と悩み多き問題が世界を襲ってきています。

工業会活動も本部でも支部でもコロナ感染が
始まる前の状況にまだ戻っていません。昨年の
本部総会是对面とリモートとのハイブリッド方
式で行いました。何とか2年越しで元ダイハツ
会長の伊奈さん(K46)の特別講演会を開催しま
した。また尾張、名古屋、広島、徳島、大阪、
東京、北海道の各支部で対面での総会を行えた
ようですが、多くは飲食を伴う懇親会を控えら
れました。本年度の支部長会議は工大祭開催日
(11月19日)に合わせ開催しました。リモート参
加の方もおられましたが、多くの方に出席いた
だきました。やはり皆様一堂に会して懇談し近
況を確かめ合うのも同窓会としては意義がある
と思います。

是非来年こそは支部長の皆さんにお集まりい
ただき、開催できることを祈念する次第です。

コロナの影響により、昨年も卒業式、入学式
への参列はできず、保護者の方々に工業会の支
援活動を説明することができませんでした。し
かし、課外活動の支援、工大祭の支援、OB・
OGトップセミナー（講演者は東海テレビ社長

の小島さん(F56)と中電ミライズ執行役員の石
川さん(J63))の開催など従来通り大学支援活動
を行うことができました。ただ、まだまだ学生
の皆さんには工業会の活動を十分認知してい
ただいていないのが現状かと思います。

全学同窓会として工業会が活動していくには
学生の皆さんの卒業後を如何にフォローする
かが大きな課題であり、単科会との連携強化の
取り組みも始めました。そしてより多くの卒業生
が参加していただける全学同窓会になれるよ
う、いろいろ議論を進めていきます。

さて最後に干支の話です。2023年は『癸卯(み
ずのとう)』だそうです。十干の「癸(みずのと)」
は十干の最後であり、物事の終わりと始まりを
意味し「種子が測ることができるくらいに大き
くなり春間近で蕾が開く直前」を意味するそう
です。十二支の「卯(う)」は「ウサギ」ですが元々
は「茂」が由来といわれ「冬の間に明け飛び回る」
という意味があり、転じて「これまでの努力が
実り始める」ことを意味し、こちらも非常に縁
起が良いとされています。

円安が治まり、コロナも終息、東欧ウクライ
ナでのロシアの撤退/戦争終結、そして日本近
隣の中国や北朝鮮の過激行動の自重など望むこ
とは多々あります。そして地球温暖化やSDGs
対応も喫緊の課題です。母校名古屋工業大学は
勿論、工業会を通して同窓会の皆様がお互いの
繋がりを育み、日本産業の再興のため活動され
ることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

表紙写真説明

「緋寒桜」 (那智)

撮影者 名古屋工業会事務局



新年のご挨拶

名古屋工業会 会長
国立大学法人名古屋工業大学 学長
木下 隆利 (W50)



新年あけましておめでとうございます。

卒業生の皆様には平素から大変お世話になっております。寄付金額もお陰様で上向きで推移しており、集計済みの2021年度では、卒業生や保護者の皆様から8千万円を超える寄付金をお預かりすることができました。また、地域や産業界との連携においても卒業生の皆様には、後方から側面から多大なご尽力を賜っています。ご寄付や一連のご支援に対し、新年の紙面をお借りして心から御礼申し上げます。

コロナ感染の波が残る中、大学ではリモートから対面へと授業形態がシフトし、直接的コミュニケーションの素晴らしさを実感しつつ教育・研究が動き始めています。学生との直接対話（キャンパスミーティング）での要望に従い、高学年では一部リモートを残しながら対面とのベストミックスを模索することになります。事務作業なども含め、コロナ禍で仕掛けたDX化が今後も進み、作業の合理化・利便性の向上や経費削減が進展するでしょう。また、海外への扉も開かれ、学生・教職員の渡航が徐々に活発になり、海外との交流・連携がもたらす教育・研究の質の向上も再起動し始めました。

昨年度、第一期生を輩出した6年一貫の「創造工学教育課程」では、卒業生を就職率100%で社会に送り出すことができました。産業界の要望を取り入れた、「工学を俯瞰することのできるエンジニア」の誕生です。今後も毎年約100名が巣立ちますので、新たなタイプの後輩としてご指導・ご助言下さると幸いです。一方、

本学初の高大接続の課程としての夜間主の「基幹工学教育課程」を新設し、昨年4月第一期生が入学致しました。全国の工業高校・工科高校から主として学校推薦で受入れ、入学と同時に就職を支援し、勤労学生としての学びの場を復活したものです。モノづくり産業の基幹を支える工学教育を徹底し、現場リーダーの育成を目指します。

その結果、従来の「高度工学」に加え「創造工学」「基幹工学」の各教育課程が勢揃いし、産業界のニーズを捉えた多様な工学人材育成拠点を確立することができました。

こうした未来志向の話題から世界情勢に目を転じると、今年も明るい兆しは遠く、むしろ危機が複合したメガクライシスという社会的ウィルスが世界を席卷している現実遭遇します。温暖化・異常気象による食糧不足、ウクライナ侵攻による民間人の犠牲及び移民問題、流通の遮断やエネルギー価格高騰に起因するインフレ現象等々が世界に拡散しているのです。

本学としては微力ながら、「心で工学」を貫徹し、社会との共創により社会的ウィルスに抗する地域・産業界の免疫力を少しでも高めていければと思っています。

本年も、テクノロジーに心をのせた名工大からの成果の発信を温かく見守って下さるよう切にお願い申し上げます。

ホットライン

「名工大歴史館」 約200人が来館

2022年11月19日(土)・20日(日)

名古屋工業会では、初めての試みとして工大祭の期間中に校友会館内において「名工大歴史館」をオープンしました。

名工大の歴史に関する展示、スライドの自動上映、名工大関連のDVD鑑賞、ロボコンの実機展示などを行いました。

当日は、新型コロナで大学に来ることができず今回初めて来たという3年生のお父さん、お母さんや、名工大を志願しようと思うけれども、もう少し深く知りたいという高校生など、予想を超えた来館者があり、にぎわいました。「閑古鳥」がなくのではと心配していた主催者（工業会事務局）は、資料の追加印刷に追われました。

学生のみなさんに100年を優に超える名工大の歴史を知ってもらい、母校への理解を深め、ひいては、卒業後の同窓会活動に関心をもってもらうことを狙いとしておりましたが、むしろ父母の方が、関心を強く持っておられるようでした。

名古屋工業会としては、今回の実績をもとに、来年以降の開催に向けた企画の検討をしていきたいと考えております。

(名古屋工業会本部事務局)



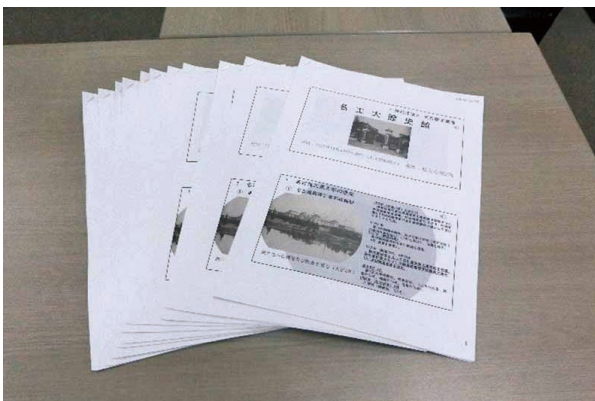
名工大歴史館の開館を告げるパネル
(校友会館（旧三協会館）前)



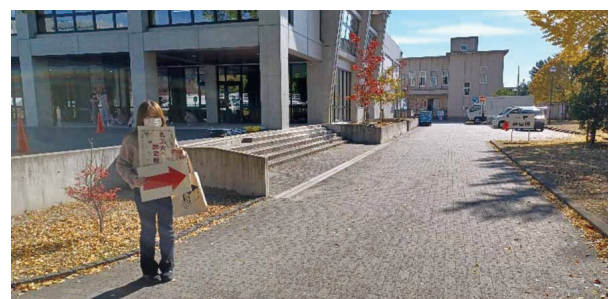
見学する来館者



音声付スライドに見入る卒業生



今回作成した名工大歴史館スライド資料



名工大歴史館を案内するスタッフ

支部長会議を開催

2022年11月19日（土）に名工大キャンパス内の生協において、支部長会議を開催しました。

支部長会議は、一昨年度は、新型コロナ対応のため完全リモートで開催し、昨年度は、ネットワーク対応がない会場で対面により開催しました。今年度は、大学内の会場で対面・リモートのハイブリッド方式により開催しました。

対面で参加された支部長は12名、リモートで参加された支部長は6名、役員9名、事務局2名、全体で29名の会となりました。

会議開催に先立ち、挑戦的課外活動支援金（目録）の授与式を行いました。今年度は、10団体から応募があり、応募したすべての団体への支援を決定しました。当日は、5団体が出席しました。

会議は、本部の今年度の取組みについて紹介しながら、支部の課題に入り、支部総会の開催状況などについて、話されました。また、日ごろの支部長さんたちの苦勞も話され、情報共有と交流が行われました。

夕食は、生協の嚴重に感染対策のなされたテーブルで、アクリル板越しに向き合いながらの「黙食」となりました。感染対策に配慮しながら各支部長さんから順に近況を報告し、全員で学歌を合唱した後、一本締めで会を終了しました。

今回は、工大祭をエクスカッションと位置づけ、校友会館で開催した「名工大歴史館」も見学しました。



支援金を授与された課外活動団体を代表し、挨拶するボート部主将（挑戦的課外活動支援金授与式）



会議の様子



支部長（奥の2列）



リモート参加の支部長



記念写真（リモート参加者（後方のスクリーン）と一緒に記念写真）

第60回工大祭への協賛

工業会本部並びに名古屋支部では、在校生への支援の一環として、11月19日・20日の2日間にわたって開催された第60回工大祭に協賛いたしました。

これに伴って、10月26日、工業会本部事務室にて、加川理事長と浅井名古屋支部長より、工大祭実行委員長の佐野海成さんへ、協賛金の目録をお渡しいたしました。

工業会本部並びに名古屋支部からの協賛金は、工大祭の運営に役立てていただけたそうです。

記：山盛 康（SC③）



目録授与（加川理事長）



目録授与（浅井名古屋支部長）

大学の防災訓練に参加

10月7日、名古屋工業大学が実施した防災訓練に名古屋工業会本部も参加しました。

大学では、全学を対象にシェイクアウト行動を実施したほか、学内の4分の1程の建物を対象に学生教職員の避難及び誘導訓練を実施しました。また、実験中に発生した大規模地震により、実験室に設置したドラフトチャンバー内で取扱い中の薬品が倒れ、火災が発生した、との想定での初期消火訓練を実施しました。

なお、名古屋工業会本部が入居している校友会館（旧三協会館）は、昭和7年竣工の建物ですが、IS値も比較的高く現在の耐震基準を満たす建物です。



シェイクアウト行動に入る工業会職員



シェイクアウト行動で机の下に入った事務局長



訓練のため、2号館前に避難した学生・教職員

新聞記事コーナー

中日新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2022/10/1	夕	4	多賀康訓	卒業生(F45)	ノーベル賞の未来 研究の価値とは 中部大の多賀康訓 特定教授
2022/10/12	朝	29	名古屋工業大学	—	総合型選抜入試、104校に 国公立大、過去最多 学校推薦型理工系女子優先枠を設ける大学5校：名工大
2022/10/12	朝	11	弓道部	在学生	s p o r t s 愛知 ◇弓道 東海学生リーグ 最終順位 名工大：男子3位
2022/10/13	朝	31	若山滋	名誉教授	「塔博士」 風にも負けず 名古屋テレビ塔設計 内藤多仲 揺れ抑える技 東京タワーも支えた
2022/10/17	WEB		アメフト	—	スポーツ ◇アメリカンフットボール 東海学生リーグ (15日岐阜長良川球戯場) 途中結果 名工大47-14信州大
2022/10/19	尾張版 朝	12	石松丈佳	社会工学専攻	<尾張カフェ巡り> (19) ゆうとび庵 (一宮市島崎1)
2022/10/22	夕	7	伊藤孝紀	社会工学専攻	<目耳録> 自動運転
2022/10/30	岐阜版 朝	12	麓和善	社会工学専攻	白山神社拝殿 初の見学会 山県唯一の国重要文化財
2022/11/25	朝	13	増田理子	社会工学専攻	自然研究の54機関が課題や取り組み共有 中区で連絡会議
2022/11/29	朝	16	名古屋工業大学	—	アジア留学生「勉強頑張りたい」知事に意気込み 「ものづくり」制度利用

ホームページのリニューアルについて

名古屋工業会では、ホームページのリニューアルを進めております。概ね完成いたしましたので、新ページへの切り替えを行いたいと思います。作業は、掲載が比較的少ない1月中・下旬を予定しております。1週間ほど更新ができなくなりますが、ご容赦くださいますようお願いいたします。詳細は、ホームページでご案内します。

なお、今回の更新作業で、ホームページ全体のデザインは変わりますが、掲載する情報は、可能な限り現在のものを移行します。ただし、古い情報は移行できませんので削除し、新情報が掲載されるまで、「準備中」の表示がでます。ご理解くださいますようお願いいたします。

☆新ホームページへのアクセス

新たなホームページのURLもこれまでどおり、<https://www.nagoya-kogyokai.jp>となります。

☆会員専用ページのパスワード

会員限定ページへのパスワードは、現在と変わらず「gokiso5298」です

ご意見があれば、事務局にお送りください。

記：名古屋工業会 事務局



2023年度 大阪支部総会報告(2022年10月1日開催)

2023年度の大阪支部総会は、新型コロナウイルス感染予防対策を考慮し、10月1日(土)午後2時から中央電気倶楽部にて、昨年同様Web会議を併用したハイブリット方式で開催しました。このハイブリット方式での開催は、一昨年、昨年に続き3回目ですが、PCやカメラの設置、配線など会場での設営や、事前のWeb参加者へのWebexミーティング接続確認などは、堀口大輔総務委員長はじめ関係者のご尽力によりスムーズに進められました。今回の参加者数は、会場参加20名、Web参加32名で、ハイブリット方式により遠隔地の会員様にもWebでご参加いただけました。

当日は、ご来賓として、河邊伸二学長特別補佐、加川純一理事長、仁科健常務理事に会場でご臨席いただき、當舎良章兵庫支部副支部長にWebでご出席いただきました。

総会は、渡辺尚夫CE会会長の司会で、岡崎格郎大阪支部長の挨拶で始められました。「いつでも、どこでも、誰でも」参加できる支部活動として、Web会議の活用推進や最近の行事について話され、特に懇親ゴルフは来春で300回を迎える活発な状況も紹介されました。続いて加川純一理事長からは、Web会議活用や工業会の財政基盤に関するお話の他、対面での懇親の必要性についても話されました。河邊伸二学長特別補佐からは、最近の大学の様子、名古屋工業大学基金の活用状況の他、学長が提唱する「心で工学」の一環である「アートフルキャンパ

ス」整備状況をご紹介いただき、基金への協力を呼びかけられました。

次に議事の審議に移り、2022年度の活動実績の報告と2023年度の活動計画の提案が川越英二副支部長から、2022年度の会計報告と2023年度予算案の提案が小山明財務委員長から、2022年度の監査報告が奥村茂樹監事からなされ、すべて承認されました。続いて支部長の改選に移り、川越英二副支部長からC59の堀口大輔総務委員長を役員会として支部長に推薦する旨、説明があり、承認されました。また、副支部長、幹事について堀口大輔新支部長から紹介があり、新体制の方々からご挨拶いただき、総会を終了しました。

第2部は、「兵庫県南部地震での山陽新幹線復旧工事」の演題で、元JR西日本震災復旧工事本部新幹線復旧部部長の松岡義幸氏(C48)にご講演いただきました。震災時のご自分の状況や、速やかな復旧を実現できた要因、震災以降の新幹線の耐震性向上状況等について、熱のこもったお話を聞かせていただきました。

その後、会員交流会として、仁科健常務理事にご挨拶を頂戴した後、会場で木越正司元支部長(C44)、Web参加で最若手の伊藤誠二氏(DH11)から近況等のご発言をいただき、Web参加者のスクリーンショットを撮影して閉会しました。

記:渡辺尚夫(C61)



【会場・中央電気倶楽部】



【岡崎支部長挨拶】



【Web 参加者】



【2023 年度 幹事】

北海道支部総会報告

令和4年度北海道支部総会は、2022年11月12日(土)に札幌で6名が参加して開催された。名古屋工業会本部から内藤克己(A43)理事長特別補佐が出席された。

令和元年に総会を開催した後は、令和2年、3年とコロナウイルス感染拡大防止のため総会では中止となり、3年ぶりの開催となった。9月の幹事会で今年度は総会を開催することとし、できるだけ多くの人に参加してもらうため、従来の総会、懇親会に加えて、講演会を開催することにした。

【講演会】

高田忠彦氏(Y41、シリカマテリアル)より、「珪藻土とSDGs」について、約1時間講演していただいた。高田氏は、名工大卒業後、北海道立工業試験場(北海道江別市)に就職され、セラミックス技術について研究、技術指導された。定年退職後は、合同会社シリカマテリアルを起業され、現在も現役でご活躍中である。



講演する高田忠彦氏

【講演要旨】

珪藻土について全く知識のない出席者全員に珪藻土で製作されたコースターを配布され、珪藻土の成り立ち、珪藻土の持つ特異的性質およびその特性を利用した応用例を紹介した。

珪藻は川や海、湖に生息する大きさ数ミクロ

ン～100ミクロン程度の光合成をしている植物性プランクトンで、その骨格は、土や石の主成分であるシリカ(珪酸)で出来ている。

遺骸となった珪藻は、海や湖の底に沈積して地層を形成し、骨格だけの化石となる。この地層が地上に現れたのが、一般的な珪藻土で、能登や秋田、大分などから産出される。一方、これとは別に北海道の道北地方から産出されるいわゆる稚内珪藻土(学術名は稚内層珪質頁岩)がある。

両者の違いは、一般的な珪藻土は半径が50nm以上の大きな細孔が主であるのに対し、稚内珪藻土は1～10nmの細孔を多く有していることである。このため、一般的な珪藻土は吸水性や断熱保湿性に富むが、水を吸放出する性質や臭いなどを吸着する性質に劣る。一方、稚内珪藻土は高い調湿性を持っている。このため、部屋の湿度を60～70%程度に自然調節することができる。また調湿と同時に室内空気を清浄にもする。

また、フードロス削減を目的とした触媒による青果物鮮度保持に使用する触媒製造に稚内珪藻土が使用され、従来高価であった触媒の製造コストの低価格化を可能にした。

さらに、誰もが気楽に塗れる珪藻土塗料を開発した。これは、台所の壁などに塗ることにより、レンジ風洞や換気扇が無くても、調理器から飛び出す油滴を吸収・吸着し、遠くへ飛散させない。この持続性は、一般住宅の台所で20年以上検証されている。

石油によって支えられてきた現代社会は豊かな社会となった反面、その負の遺産は大きく、地球環境問題の解決は待たないで、SDGsが世界共通の課題となっている。石油代替技術による健康で快適な住まいについては、稚内珪藻土を使う調湿技術で実証してきた。また、堆肥化や融雪剤に使用した稚内珪藻土が地力を高めることも実証されている。このように珪藻土はSDGsの概念に合致している材料といえる。

【総 会】

令和元年度から3年度までの事業報告および会計報告がなされ、承認された。次年度の事業計画として、支部総会(2023年11月11日(土)、札幌予定)、幹事会、ホームカミングデー出席者に対する交通費の半額補助、名古屋工業会終身会員入会補助(半額補助)、初めて総会に出席する人の会費免除が提案され、承認された。

【懇親会】

内藤理事より大学および工業会の現況について報告があった。初めに木下隆利(W50)学長からの伝言として、卒業生、工業会からの寄付金などを基に、新型コロナウイルス感染症に伴う学生支援として、全学生(5,135名)に5,000円、特に援助が必要な学生(18名)に13万円支給したことが報告された。また、学長が推進している「心で工学の確立」を進めるためのアートフルキャンパス整備基金への寄付の依頼があった。

大学については、現在、学科は5学科に集約され、これとは別に、6年一貫教育の創造工学教育課程があることが紹介された。また、今年度、北海道からの新入生が7名いることも紹介された。北海道には国立大学法人の工業大学が2校あり、さらに、北海道と名古屋の間には多くの大学がある中、名工大へ入学した北海道出身者が期待した通りの学生生活を送っていることを願っています。

工業会については、近年大きな変化があり、詳細な説明があった。

従来使用していた名古屋工業会館は耐震強度が十分でなく、解体され、現在、跡地は有料駐車場となっている。これに伴い、工業会本部が大学敷地内へ移転した。移転の条件として、工業会組織を全学同窓会組織に変更するよう求められた。このため、定款を改正し、非会員を「登録会員」とした。これに伴い、卒業生は全員、会員が登録会員となった。

支部要件が見直された。「支部は、原則とし

て、正会員を含む10名以上の会員により構成され、その区分は一市一郡以上とする。」(支部に関する規則第4条第1項)となった。

単科会との連携会議が開催された。当面、連絡体制の確立(役員・幹事等名簿の共有)、情報の共有・交流、行事における連携(就職関係、講演会講師等)を目標とした。卒業生の住所など名簿は、大学、工業会より単科会が充実しており、単科会との連携は重要である。

記：三田村好矩(F41)



2022年度 東京支部総会報告

心地よい秋晴れのなか、11月12日(土) 13時より、日本橋茅場町の鉄鋼会館にて東京支部総会が開催されました。

長引くコロナ禍のため、2020年度および2021年度の東京支部総会は、メールや郵送による“書面総会”でしたが、本年は3年ぶりの対面による総会となりました。

恒例の懇親会に代えて、食事・アルコールはなしですが懇談会も開催し、87名の卒業生が集まりました。また来賓として、名古屋工業



加川理事長

大学から河邊伸二学長特別補佐(A59)、北村憲彦教授(M56)、名古屋工業会本部から加川理事長(K49)、仁科常務理事(B50)にご出席いただきました。



河邊学長特別補佐

13時から開始された東京支部総会は、総会・特別講演会・本部との情報交換会・写真撮影・懇談会の順序で進行していきます。

まず総会では、刑部支部長(D54)の挨拶のあと、ご来賓の河邊学長特別補佐と加川理事長からご祝辞をいただきました。刑部支部長から会務報告、会計報告、会計監査報告を行い、拍手をもって承認されました。

続く特別講演会は、東京工業大学名誉教授・株式会社Zetta CTOの谷岡明彦先生(W45)による「ナノファイバーから見たイノベーションー大学での発見・国家プロジェクト・ベンチャー

設立・死の谷と脱出ー」です。高性能マスクをはじめとするナノファイバーの世界と、ベンチャー企業を立ち上げてナノファイバーの事業化・工業化に至る20

年の軌跡について、大変わかりやすく親しみやすい語り口でお話いただきました。

今回、はじめての試みとなった「本部との情報交換会」は、東京支部として本部にご相談したいテーマをあらかじめ検討して事前にお伝えし、支部総会の場で本部のお考えをお伺いするというもので、今回は「今後の名古屋工業会と単科会の在り方」をテーマとしました。刑部支部長より改めてテーマと、それについての支部からの意見を紹介したあと、加川理事長より本部としての考え方や今後の展望などについて丁寧にご説明いただきました。

ご来賓を囲んでの出席者全体の写真撮影を2回に分けて行ったあと、浅井副支部長(E58)による開会の挨拶で懇談会を開始しました。

名工大関係のビデオがプロジェクターで映し出されるなか、お茶だけとはいえ大変賑やかな懇談会となりました。席上、仁科常務理事にご挨拶いただき、杉浦通さん(D35)と滝義宏さん(D39)によるハーモニカ演奏が披露され、また出席者中の最高齢で今年100歳となられた小関健二さん(M18)にも元気にご挨拶いただきました。最後はハーモニカの伴奏で学歌を斉唱し、入矢副支部長(C52)の音頭で三本締めを行い、来年の再会を期してお開きとしました。

記：上小澤哲人(D56)、大久保智明(D57)



谷岡先生



2022(令和4)年度名古屋支部見学研修会開催報告

名古屋支部では、11月12日、2022(令和4)年度名古屋支部見学研修会を開催致しました。

未だ、新型コロナウイルス感染症の終息が見通すことができない状況にありますが、今回、様々な新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、3年ぶりに、見学研修会を開催し、会員及びそのご家族を含め24名の方々にご参加いただきました。

心地よい秋晴れの下、今回の見学研修会は、三重県伊勢方面へと足を運び、皇室のご祖神である天照大神をおまつりする皇大神宮(伊勢神宮内宮)、食と産業の神様である豊受大御神を

おまつりする豊受大神宮(伊勢神宮外宮)、伊勢神宮の式年遷宮を紹介する博物館・式年遷宮記念せんぐう館を、参加者の皆さんにご参拝・見学していただきました。さらに、伊勢神宮内宮門前のおはらい町・おかげ横丁では、散策・食べ歩き・お買い物を楽しんでいただきました。

今回の見学研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年に比べ参加された会員の方は少なかったですが、参加された皆さんには、長い歴史に育まれた伊勢路の旅を満喫していただきました。

記：山盛 康(SC③)



皇大神宮（宇治橋）



皇大神宮（正殿）



豊受大神宮（正殿）



式年遷宮記念せんぐう館



おはらい町

令和4年・大阪支部「秋季歴史探訪の会」開催報告

大津巡り(石山寺・西教寺・日吉大社)

大阪支部「歴史探訪の会」：K47横山 誠・K48神戸 孝

滋賀部会長：(前)A46福永忠昭 (新)C60村尾俊道

日 時：令和4年11月12日(土) 10:00～16:30

参加者数：25名

内 容：滋賀大津市 ①石山寺 ②西教寺 ③日吉大社

報 告：

今回は滋賀部会との共同開催です。当日は快晴となり、紅葉が最も美しく映えるなかでの散策会となりました。各地のガイドは前大阪支部長の岡崎格郎氏に担当いただき、各歴史建築物の詳細説明により充実した歴史探訪となりました。

① 石山寺

- ・聖武天皇の勅願により天平勝宝元年に良辨僧正により開基された由緒あるお寺であり、当時は造東大寺司の現地事務所も置かれて、琵琶湖沿岸から切り出された木材を東大寺へ送る機能を担っていたとされる。
- ・本堂真下には天智天皇の石切り場跡があり、ここで切り出された石が大阪湾、大和川を經由して奈良の川原寺中金堂の礎石に使用されたことも最近分かり、この石山から石山寺となった事に納得しきりでした。
- ・本堂には「源氏の間」があり、かつて紫式部がここで「源氏物語」の構想を練ったと伝えられていて、再来年の紫式部を主人公とする大河ドラマでは、ここが主要な舞台となる期待が持たれた。

- ・光堂は岡崎氏が設計施工の東レ建設の一員として手塩にかけて建設した建物で、色々な思いが詰まった建物である事が理解できた。平成20年に建立された見事な建物である。

② 西教寺

- ・天台真盛宗の総本山であり、「不断念仏相続19万日大法会」が丁度完了したところであった。
- ・織田信長の比叡山焼き討ち時に焼けたが、明智光秀の支援で復興したと推定される。境内には光秀の供養塔、妻熙子(ひろこ、細川ガラシャの母) 他一族の墓がある
- ・西教寺は比叡山坂本にあり、坂本は中世に穴太衆の里として石垣造りの職人集団が住む街であり、西教寺の石垣にもその優れた技能がいたる所で確認された。

③ 日吉大社

- ・日吉大社では猿が「魔が去る」「勝る」から縁起のよいとされて、境内で飼われているのみならず、訪問当日には、たまたま猿回しの見世物もあり、猿の演技にみな見とれ、大変好評でした。

記：横山 誠(K47)・神戸 孝(K48)



石山寺国宝多宝塔にて



西教寺総門にて



日吉大社にて

第253回 名工会東京支部ゴルフ大会報告

第253回ゴルフ大会は11月9日(水)千葉県佐倉カントリー倶楽部に於いて、7月に100才を迎えられた小関健二さん、ゲストの戸澤宏一さんを迎えて参加者14名で開催されました。

秋も深まり、絶好のゴルフ日和で紅葉を愛でながら、全員無事でホールアウトする事が出来ました。

結果はC34田北元良さんが(グロス95 ネット74)の素晴らしいスコアで見事優勝されました。準優勝はD36加藤精也さん(グロス109 ネット75)、3位はB45林利信さん(グロス86 ネット78)でした。

懇親会には津田さん、川島さんも参加され、入賞者の表彰式とご挨拶を頂いた後、引き続き今回をもって退会される小関さんの慰労会を行いました。津田さんからは小関さんが昭和53年(1978年)6月の第75回大会より44年間お元気で参加された事や、今後もお好きな時に参加されるよう歓迎の意をお伝え致しました。また、小関さんからは百歳ラウンド達成の証明書のご披露が有りました。

次回は松下昭様のご紹介により来年3月末に本厚木カントリークラブにて開催されます。多数の皆様のご参加をお願い致します。

又当会の活動問合せ及びゲスト参加、入会ご希望の方は津田卓美(nogitsuda3110@gmail.com)までご連絡をお願いします。

実行委員：伊藤禎治(A35)
野澤滋為(M36)



後列左より：戸澤宏一、河野正武、西口義久、三好修、津木良亮、小関健二、藤田正皓、篠原克彦、加藤精也
前列左より：石川正、林利信、伊藤禎治、田北元良、野澤滋為
(以上敬称略)

第3回 広島支部ゴルフコンペ開催報告

2022年11月13日(日)に、コロナ禍で2年間中止していた第3回広島支部ゴルフコンペを宮島カントリー倶楽部(広島市佐伯区)で開催しました。小春日和が続いている中、当日に限って雷を伴う雨の予報でしたが、幸い少雨で傘をささずにプレーすることができました。第8波の到来が迫っており、慌てて開催を企画・決定したため、周知期間が十分でなく、また、前日にコロナ感染で1名欠席となり、例年より少ない2組(8名)の参加者でした。優勝者は最年長の村神哲也さんで、OUT42、IN41、グロス83、ネット71の堂々たる成績でした。それにしても、村神さんは喜寿になってもドラコンも取られ、飛距離と機械の様な正確なショットには一同脱帽でした。

広島支部は、2年間中止していた総会も7月に再開し、ゴルフコンペもこのまま第2回で終了しそうな気がして、コロナの合間を見て急遽開催しました。来年からは、春と秋の2回開催することになり、次回はゴールデンウィーク頃を予定していますので、皆様、奮ってご参加下さい。

記：大田一夫(C47)

順位	氏名	OUT	IN	グロス	HD	ネット
優勝	村神 哲也	42	41	83	12	71
2位	大田 一夫	44	56	100	24	76
3位	岩室 良	48	50	98	20	78



左から村神(F43)、大田(C47)、田頭(M47)、天野(C63)、西尾(B55)、細越(EsH4)、神原(E53)、岩室(E50)
(以上敬称略)

第132回名工大ごきそ会報告

第132回名工大ごきそ会は、令和4年12月2日(金)豊田市松名町に位置するパインズゴルフクラブで11名の参加を得て開催されました。新型コロナウイルスも第8波と言われる状況下ですが、ゴルフ場の感染対策に従い予定通り開催しました。当ゴルフクラブは和紙と四季桜で有名な小原のすぐ近くにあり、当日はまだ四季桜が見ごろであり、紅葉との共演を楽しむことができました。

当日は曇りの天候で風が少しあり肌寒い状態でしたが、3チームでゆったりとしたプレーを楽しむコンペになりました。当コースのグリーンは早く、フェアウェイもアップダウン、バンカーが多く挑戦的です。

この中で、優勝は平岡雄偉さんでグロス85、ネット77の立派な成績でした。準優勝は代表幹事の篠田陽史さんでグロス100、ネット78、第3位は本クラブ会員の泉地正章さんでグロス92、ネット78の同スコアの成績でした。BBは山田和男でした。特別賞として、ベストグロス賞は優勝者の平岡さんが獲得されました。ニアピン賞は平岡さん、泉地さん、伊佐治武さん、の3名でした。バーディー賞は梶原俊彦さん、泉地さん、平岡さんが獲得されました。おしどり賞は岡田聡さん、加藤倫朗さん、汗闘賞は市橋洋志さん、大波賞は梶原さんでした。

平岡さんから優勝のご挨拶をいただきましたが、平岡さんは所属クラブでエージシュートを打たれ表彰をうけたとのこと。これからも元気に活躍ください。

次回は来年3月30日(木)梶原様のご紹介で名古屋市に位置する緑ヶ丘CCでの開催を予定しております。

名工大ごきそ会では、新会員を募集しております。愛知県内のゴルフクラブで年4回開催します。プレーを希望される方は幹事の山田宛E-mailでご連絡ください。(E-mail : kazuoy50@hm10.aitai.ne.jp)

記：山田和男(E47)



竹本油脂・三谷水産高校を見学して

2022年度 尾張支部工場・社会見学会

名古屋工業会尾張支部は、令和4年(2022年)11月28日(月)に10名の参加者にて、工場見学会・社会見学会を実施しました。

当日は、蒲郡駅に集合後、竹本油脂株式会社研究所を訪問、昼食後、竹島水族館見学、最後に愛知県立三谷水産高等学校を見学しました。最初に竹本油脂本社には650名の従業員中名工大卒業生が60名弱と多く在籍し、研究開発及び製造分野で活躍していると伺いました。同社の有名なゴマ油の売上は1割程度で、残り9割は界面活性剤を応用した化学品が主力との事でした。それらは、研究者が顧客のニーズを徹底的に聴取する研究開発を重視する企業体制から生み出されると聞き、名工大卒業生が多く在籍する理由が理解できました。

次に手作り展示が有名な竹島水族館で魚類を見学しました。



愛知県立三谷水産高校のHPより

最後に三谷水産高校を訪問しました。全国にある水産高校の中で、水産に関する全分野(海洋漁業、海洋工学、情報通信、海洋資源、水産食品)が備わる唯一の学校であると、湯藤校長に紹介されました。校内見学では、船舶エンジンの実習室、缶詰巻締自動機の実機を使っの動作説明、ウナギの養殖場、隣接する三谷港での実習船などと中味の濃い内容を拝見しました。ただ、299トンの中型実習船「愛知丸」が出航中で、乗船見学できなかった点は心残りでした。

当日の参加者は、各訪問先で活発に質問され、コロナ禍で実施できなかった3年分を取り戻した内容の濃い充実した見学会は大変有意義であったと思います。

記：名工会尾張支部副支部長・小久江智之



謹賀新年

2023年元旦

名古屋支部

〔2021・22年度主担当単科会：CE会〕

支部長	浅井 慶一郎	C56
庶務幹事	山 盛 康	C③
会計幹事	平 原 英 樹	C⑨

〔単科会 代表連絡幹事〕

C E 会	山 盛 康	C③
光 鱈 会	井 澤 知 旦	A51
巴 会	北 村 憲 彦	M56
電 影 会	三 宅 正 人	E60
双 友 会	吉 木 満	W56
緑 会	伊 藤 龍 美	D60
名 窯 会	西 部 徹	Y③
名 晶 会	横 山 雅 行	K52
計 測 会	野 村 正 裕	F55
経 友 会	仁 科 健	B50
情 友 会	犬 塚 信 博	J62

事務局 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町字木市29番
 国立大学法人名古屋工業大学 校友会館内
 一般社団法人名古屋工業会 ☎(052)731-0780

東京支部

支 部 長／副理事長	D54	刑 部 道博
副支部長／代議員	E58	浅井 英利
副支部長／代議員	C52	入矢桂史郎
代表幹事／代議員	K53	北村 明弘
相 談 役／顧問	D41	阿 部 完二
顧 問	D51	松居 和治
監 事	D38	三 山 雅敏
監 事	Y40	日 沖 昭
幹 事／代議員	E⑬	三 浦 太朗
	M55	戸 澤 宏一
	D57	大久保智明
	B46	飯 沼 義昭

幹事		幹事	
C44	川島 泰	E44	井上 憲二
C48	榎尾 恒次	E53	原田 幹寿
C56	名倉 健二	Es50	丸山 実孝
C57	牧 哲史	A59	鹿島 孝彦
C⑭	佐田 崇	A59	鈴木 利昭
C⑭	佐山 友美	A61	工藤 佳弘
D35	濟木 良亮	K50	細谷 新
D44	岡本 利郎	F45	松永 一郎
D45	鈴木 満雄	F52	小川 建太郎
D56	上小澤哲人	Y42	清 俊二
D①	馬場 順一	W38	倉島 嶠
M45	小野 尚純	W43	印藤 靖範
M47	松浦 明人	B49	齊藤 康史
M49	福岡 洋二	B61	村田
M53	櫻井 昭男		

北海道支部（北鱈会）

支部長 三田村 好矩（F41）

代議員 佐 川 正 人（C53）

三 河 支 部

支部長 長谷部 勲（K56）

幹 事 水 野 文 彦（K63）

東 北 支 部

支部長 羽 鳥 明 満（C57）

尾 張 支 部

支部長 伊 藤 美 保（D44）

令和5年度(2023年)支部総会は名古屋文理大学
文化フォーラムで4月8日(土)に実施する予定です。

静 岡 支 部

支 部 長 石 塚 基 一 郎（C54）

副支部長 向 坂 直 久（S60）

代 議 員 山 之 上 誠（C49）

事務局長 藤 井 義 磨 郎（S49）

静岡支部役員一同

岐 阜 支 部

支部長 大久保 陽一（Es44）

事務局 糸 見 義 雄（E51）

大 阪 支 部

支部長 * C 59 堀口 大輔
副支部長 * E 47 川越 英二
副支部長 * G 50 西川 嘉一
副支部長 * M 51 坪田 博隆

総務委員長 * A 59 小山 明
事業委員長 * E 47 川越 英二 同副委員長 * G 50 西川 嘉一
会員増強委員長 * M 51 坪田 博隆
若手・女性部会長 * M 51 坪田 博隆
地方部会長 * G 50 西川 嘉一 同副部会長 A 55 宮本 和則
技術士部会長 M 46 松永 純二 同副部会長 D 41 末利 鏡意
財務委員長 * A 59 小山 明 同副委員長 G 57 竹村 邦和
単科連携委員長 * M 51 坪田 博隆
監 事 W 48 奥村 茂樹
単科会支部長 C 61 渡辺 尚夫 単科会支部長 Y 44 川島 謙
単科会支部長 A 57 田邊 太一 単科会支部長 K 52 高岸 成典
単科会支部長 M 45 掛田 健二 単科会支部長 F 55 坂尾 健司
単科会支部長 * E 47 川越 英二 単科会支部長 B 50 廣島 清剛
単科会支部長 W 40 西川 宣昭
単科会支部長 * G 50 西川 嘉一 * は本部代議員

地方部会幹事

和歌山県 C 57 東 照久 C 53 向井直樹 SC17 井原誉文
奈良県 G 50 西川嘉一 C 52 福井広行 K 47 横山 誠
滋賀県 C 60 村尾俊道 M 45 伊藤俊明
京都府 A 55 宮本和則 M 58 筒井真作

【本 部】

本部相談役 C 44 木越 正司
副理事長 A 46 岡崎 格郎
本部参与 K 40 河辺 彰

北 陸 支 部

支部長 竹田 敏洋 (B 院44)
代議員(富山幹事) 黒田 茂 (M 47)
代議員(福井幹事) 吉岡 正盛 (B 58)
会 計(石川幹事) 加戸孝太郎 (B 49)

三 重 支 部

支部長 里 宏幸 (C 55)

三重支部メールアドレス
Mail : miegokiso@nagoya-kogyokai.jp

岡 山 支 部

支部長 野村幸宣 (C 54) 幹 事 岡本研作 (Y 54)
代議員 小倉俊彦 (A 58) 浜野弘史 (Es 56)
代議員 虫明正博 (K 59)
幹 事 中村浩巳 (A 54) 事務局
石井敏典 (G 47) 〒701-0113 倉敷市栗坂467-22
齋藤 実 (C 55) 虫明産業(株)内

兵 庫 支 部

支 部 長 高 柳 誠 C 60 元・兵庫県庁
副支部長 佐久嶋 拓 E ⑭ 三菱電機
當 舍 良 章 SC③ 兵庫県庁
事務局長 青 野 信 尹 C 46 元・神戸製鋼所
監 査 役 羽 倉 昭 二 C 54 元・神戸市役所
顧 問 楠 田 修 三 A 50 元・兵庫県庁
幹 事 田 村 健太郎 CM②① 兵庫県庁
羽 倉 昭 二 C 54 元・神戸市役所
西 川 芳 久 C 49 元・神戸製鋼所
小 倉 正 裕 ZY③ 神鋼環境ソリューション
武 藤 崇 史 EJ② (一般・東) 三菱電機
丸 尾 哲 也 C 46 (一般・西) 丸尾計画事務所
上 村 芳 大 M 55 メディカロイド
植 田 康 之 M ⑩ 川崎重工業

【本 部】

代議員 R4年度 佐久嶋 拓 E ⑭ 三菱電機
同上 當 舍 良 章 SC③ 兵庫県庁

広 島 支 部

支 部 長 大 田 一 夫 (C 47)
副支部長 松 井 敏 郎 (Es 55)
代 議 員 菱 川 躬 行 (E 34)

E-mail : kazuo-ota0603@red.megaegg.ne.jp

山 口 支 部

支部長 岸 田 潤 三 (C 58)
代議員 川 上 為 夫 (W 42)

山 陰 支 部

支部長 糸 賀 輝 穂 (C 51)
代議員 湊 口 民 弥 (A 52)
監 事 藤 井 俊 逸 (C 58)
幹 事 森 下 博 (C 56)
幹 事 石 飛 宏 治 (C 53)

香 川 支 部

支部長 藤 川 智 (E 52)

徳 島 支 部

支部長 福 井 雅 彦 (A52)

代議員 福 井 一 博 (A46)

愛 媛 支 部

支 部 長 馬 越 陽 一 郎 (C58)

副支部長 加 藤 元 三 郎 (E47)

代 議 員 小 松 浩 樹 (CM29)

九州支部 Challenge 50!

魅力ある春の見学会・秋の支部例会。
皆さまのご参加をお待ちしています。
お問い合わせは下記メールアドレスまで!
Kyusyugokiso@nagoya-kogyokai.jp

株式会社 TYK

代表取締役会長 牛 込 進 (Y33)

総合印刷の 栄光社

〒466-0035 名古屋市昭和区松風町三丁目4番地
ムツミヤビル2F
TEL<052>848-6148(代) FAX<052>848-6518番

UNIV. CO-OP 名古屋工業大学生生活協同組合

専務理事 山 本 昌 也

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
TEL<052>731-1600 FAX<052>731-8726
E-mail : m-yamamoto@nitcoop.or.jp

2023年度(令和5年度)

一般社団法人名古屋工業会会員総会開催予告

新型コロナウイルス感染は、いったん収束の方向にありますが、新たな変異株の拡大など、不安な要素もあり、総会会場について検討中です。

名古屋工業会本部と致しましては、当面、次の日程での開催を予定しております。

日 時：2023年5月27日(土) 午後 総会

(特別講演会、懇親会の開催方法は、開催の有無も含め未定です)

場 所：名古屋工業大学内 又は、周辺施設

(詳細は次号以降のごきそ、又は名古屋工業会ホームページに掲載します)

※当会会員の方で、叙位叙勲受章者は表彰しますので、事務局宛にご連絡ください。

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター・定期刊行物
etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げられたノウハウはDTPにおいて、特に不得意とされる組組みの書籍・表組みの異物も得意分野です。

印刷

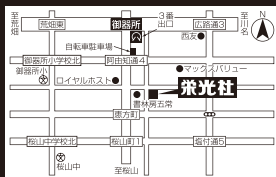
カラー印刷：2色刷り・1色刷り・特色刷り、品質・部数・ご予算に応じて提供いたします。
Macintoshのみならず、ワード・太郎等の通常のオフセット印刷に遠くなくWindowsデータの出力ノウハウもありませんのでご相談ください。

製本

目次・体裁記・詩歌・俳句・小説・エッセイ・雑誌・絵本等、自分の本を作りたいとお考えの方。
各種マニュアル・広報・配布文書・名簿・クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本でお困りの学生・法人の方、少ロットでもお手伝いします。

総合印刷の 栄光社

〒460-0035 名古屋市中区栄5丁目4番地 2F
TEL: (052) 848-6148
FAX: (052) 848-6518
URL: <http://www.2.ocn.ne.jp/~eik/>
E-mail: eikou@theia.ocn.ne.jp



60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座 一材料、加工、設計、電気・電子、組込コンピュータ、各種要素技術…
品質系全30講座 一DRBFM、なぜなぜ分析など各種未然防止手法
マネジメント系全10講座 一経営品質、もしどらーダシブ、プロジェクト管理…

『開発設計の教科書』(日経BP 2019出版)

WORLDTECH 株式会社 ワールドテック

代表取締役 寺倉修(F50)

〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目28番12号 名古屋若宮ビル6階
TEL: 052-211-7861 E-mail: solutions@worldtech.co.jp

(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。

44年の実績

登録料 33,000円(税込)
100%OFF



株式会社 ブライダル

お問い合わせ (月曜定休) ☎0120-415-412
<http://www.bridal-vip.co.jp>

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄 3-7-13 コスモ栄ビル 9F
東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 28F
豊橋支社 〒440-0075 愛知県豊橋市花田町西宿無番地 豊橋駅ビルカルミア 4F

広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

学内

学外

吉田奈央子	祖父江貴宏 (SC④)
濱田 晋一 (SC②②)	松本 浩明 (SC①⑨)
牧野 武彦	浅井 一仁 (IIM②①)
後藤 富朗 (EJ⑨)	廣瀬 光利 (E50)
杉本 英樹 (ZW⑥)	吉木 満 (W56)
安井 孝志 (D62)	高取 奨 (D⑥)
本多 沢雄 (ZY⑥)	野々山尚志 (Y63)
小坂井孝生 (K49)	大矢 泰正 (K52)
米谷 昭彦 (F60)	寺倉 修 (F50)
横山 淳一 (FB⑥)	入倉 則夫 (B47)
宿輪 宏典 (名古屋工業大学 企画広報課)	

一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は隔月発行し、会員・広告主・関係官庁・各学会・大学・図書館等に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

ご確認ください。

※広告を募集中です。お問い合わせは名古屋工業会 E-mail: gokiso@lime.ocn.ne.jp までお願いします。